

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年 5月15日(火)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年 5月15日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	残留熱除去機器冷却系(A)熱交換器において、海水側水室継手部ライニング(被覆)の剥離(1箇所)が認められたため、当該ライニングを点検・修理。なお、現在当該ライニング部からの漏えいはなし。	GⅢ	
2	1号機	非常用ディーゼル発電設備(A)潤滑油フィルターNo. 4において、フィルター内筒(金属製の網状の部品)にほつれが認められたため、点検・修理。なお、現在当該設備は点検中のため機能に影響なし。	GⅢ	
3	4号機	海水熱交換器建屋地下1階北側において、原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(A)上部電線管から雨水の滴下(約30秒に1滴)が認められたため、原因調査・対策検討。なお、当該電線管内ケーブルは無通電。周辺の電気品への影響はなし。受け皿を設置済み。	GⅢ	